

各市町村組合教育委員会教育長様
各 幼・保・こども園 園 長様
各 小・中・高 等 学 校 長様
会 員 各 位

日本人権教育研究学会 会長 古橋エツ子

2019年度 日本人権教育研究学会研究大会のご案内

21世紀の人権教育フォーラム

大会テーマ

子どもの貧困と人権 —学校教育における実践を通して—

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、このたび日本人権教育研究学会第20回研究大会(「21世紀の人権教育フォーラム」)を下記の要領により開催することとなりました。つきましては、会員の皆様をはじめ多数の先生方がご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 2019年8月9日(金)
2. 会 場 姫路大学
〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2042-2 TEL 079-247-7301
3. 主 催 日本人権教育研究学会
4. 後 援 兵庫県教育委員会・兵庫県人権教育研究協議会
(公財)兵庫県人権啓発協会・兵庫県市町村教育委員会連合会
5. 大会テーマ 子どもの貧困と人権 —学校教育における実践を通して—

6. 日 程

9:30	10:00	12:05	13:30	16:30
受付	研究発表 (201・202)	昼 食 理事会(大会議室) シンポ打合せ(応接室3)	シンポジウム (201・202)	

7. 問い合わせ先

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2042-2 姫路大学 社会科教育研究室気付
日本人権教育研究学会事務局
e-mail hrerclerk@gmail.com

===== 大会スケジュール(午前) =====

■ 研究発表 10:00～12:05 講義室 201・202

司会 小林 直樹 (岐阜聖徳学園大学)

10:00～10:25

(1) 人権教育における人権感覚の醸成

—X 小学校研究報告書の社会学的分析を中心に—

福本良之 (神戸医療福祉大学) 津田 博 (大阪体育大学) 岡田大助 (群馬大学)

10:25～10:50

(2) 比較法研究にみる人権教育の可能性 —フィンランドのネウボラを例として—

和田美智代 (新見公立大学)

10:50～11:15

(3) 子どものレジリエンスと人権感覚に関する基礎的研究

—福岡県A市の小・中学生の質問紙調査に基づいて—

濱元伸彦 (京都造形芸術大学)

11:15～11:40

(4) 児童学の基礎としての子ども観

—児童憲章から児童の権利に関する条約の読み直しを通して—

小田桐 忍 (聖徳大学)

11:40～12:05

(5) 認知症高齢者の法的保護者の人権擁護

山本 克司 (修文大学)

大会スケジュール(午後)

■ シンポジウム 13:30～16:30 講義室 201・202

司会:五十子敬子(尚美学園大学名誉教授)・津田 博(大阪体育大学)

【テーマ】 子どもの貧困と人権 ―学校教育における実践を通して―

【趣 旨】

厚生労働省「国民生活基礎調査」によると、子どもの相対的貧困率は1985年に10.9%であったが、2012年には16.3%に上昇した。子どもがいる現役所帯の相対的貧困率は15.1%であり、そのうち、大人が1人の所帯の相対的貧困率が54.6%と大人が2人以上いる所帯の12.4%に比べて非常に高い水準となっている。その後、2013年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され、2016年の同調査では、子どもの相対的貧困率は13.9%と改善傾向を示した。

貧困とはどのような状況をいうのであろうか。OECD(経済協力開発機構)は、所帯の収入から税金や社会保険料等を引いた金額(いわゆる手取り収入)を所帯人数の平方根で割った等価可処分所得の中央値の1/2を貧困線とし、その線より低い所得層を貧困と定義する。

長らく日本社会の雇用の中心的システムは終身雇用制であった。しかし、バブル崩壊とグローバリズム、高齢化社会という要因が重なり経済成長は低迷している。従来の固定的な雇用慣行の対象となる正規社員の比率は低下し、派遣社員やパートタイマーの比率が高まった。「平成26(2014)年就業形態の多様化に関する総合実態調査」では、非正規労働者が全労働者の40%に達している。また同年9月に非正規労働者に支払われた給与は、10万円未満が男性21.3%、女性45.6%であった。

本シンポジウムでは、子どもの貧困の連鎖の可能性を断ち切るべく反貧困学習に取り組んでいる大阪府立西成高校校長山田勝治先生をお招きし、その取り組みについてのご講演を賜わり、学校教育において子ども達の生身の人間性を理解し、本当の意味での学力向上を模索したいという本学会会員原田琢也が「効果のある学校」について報告する。

【シンポジウム時程】

シンポジウム趣旨説明	13:30～13:40	
シンポジスト報告	13:40～14:15	山田 勝治 (大阪府立西成高等学校)
	14:15～14:50	原田 琢也 (金城学院大学)
		休憩 (20分)
ディスカッション	15:10～16:15	
まとめ	16:15～16:30	

8. 参加申し込み・参加費

大会参加希望の方は、7月23日(火)までに、入力フォームにしたがいE-mailにて送信ください。なお、参加費は3000円です(研究大会要旨集録を含む)。当日会場にて徴収します。おつりのないようにご協力をお願いします。なお、当日の参加も受け付けておりますが、会場準備の都合上、可能な限り事前申込みをお願いします。

研究大会終了後に懇親会(ホテル日航姫路セリーナ(兵庫県姫路市南駅前100))を行います。参加費は5000円です。こちらも併せて参加の有無をお知らせください。

<E-mail 入力フォーム>

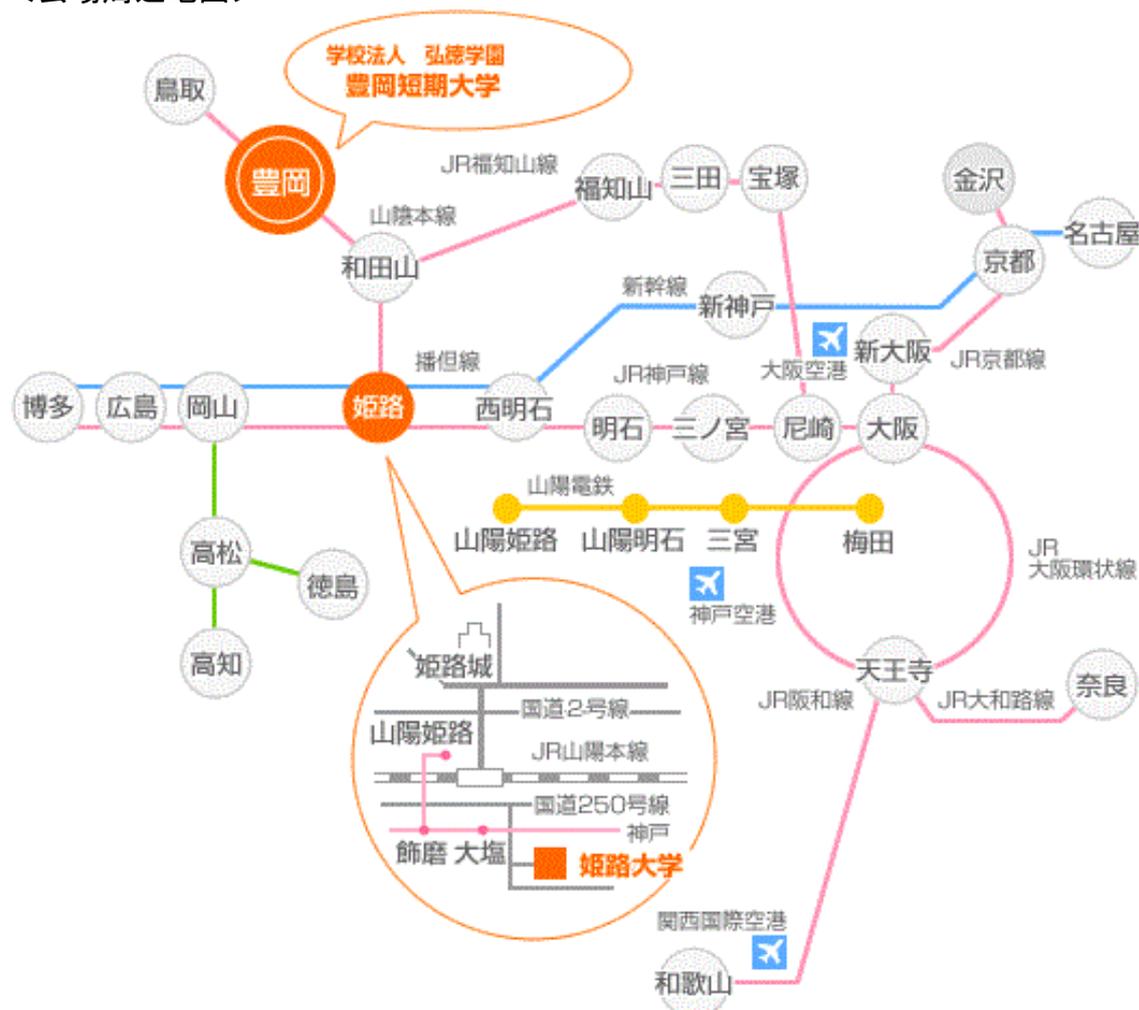
【件名】研究大会参加申込 【本文】①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無
<申込送信先>

岡山大学 小河達之 : E-mail (jahrer@okayama-u.ac.jp)

- ・開催に際して連絡をする場合がありますので、上記アドレスから受信ができるように設定をお願いします。

9. 会場へのアクセス

<会場周辺地図>



山陽電鉄「大塩」駅下車、徒歩約8分。またはスクールバスで約1分。
※山陽電鉄「大塩」駅へは「山陽姫路」駅より直通特急で約10分。
姫路大学の最寄り駅は山陽電鉄「大塩」駅です。